

NO. 40

ひも結び

1 ねらい

- ・生活の知恵から生まれたいろいろな「結び」を習得し、野外活動でも実践できるような体験をする。

2 活動の計画

(1) 活動期間	通年	
(2) 所要時間	1～2 時間	
(3) 活動場所	体育館，多目的ホール，研修室	
(4) 準備物	〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
	・ ひも ・ ひも結びカード	・ 木の枝 等 (はしごづくりをする場合)

3 活動について

- ・事前に自分たちの周りで見られる結び方を観察します。
- ・ひも結びカードや会場の掲示を見ながらさまざまな結び方を学びます。
- ・雨天時のプログラムに適しています。

4 展開例

区 分	内 容
準備・説明 (10 分)	(1) 活動のねらいや内容の説明を聞きます (2) 活動の諸注意を聞きます
活動 (40～100 分)	(1) 生活と結びついている実用的なひも結びに挑戦します (2) いろいろなひも結びに挑戦します
まとめ・片付け (10 分)	(1) 感想発表をします (2) 片付けをします

5 活動上の留意点

- ・ひもを振り回したり、首に結んだりする等、危険な行為はしないようにしましょう。



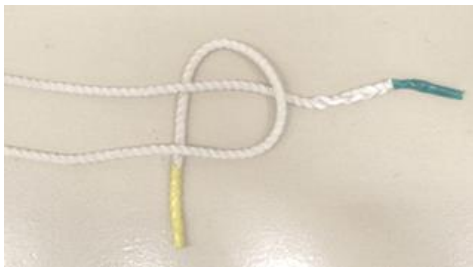
写真1 ひも結びカード①



写真2 ひも結びカード②

「テグス結び」(フィッシャーマンズ・ノット)

- ①2本のロープを平行にそろえ、一方のはしをもう一方に巻き、
巻いたロープを写真のように通して結ぶ。



- ②もう片方も同じように結ぶ。



- ③ふたつの結び目がくっつくように強くひっぱる。



できあがり！



「テグス結び」って？

つり糸をつなぐ時に使用するのでこの名前がついた。

「棒結び」

①ロープの一方を 3～4 回折り返す。



②折り返したロープに、余ったロープをきれいに巻きつけていく。



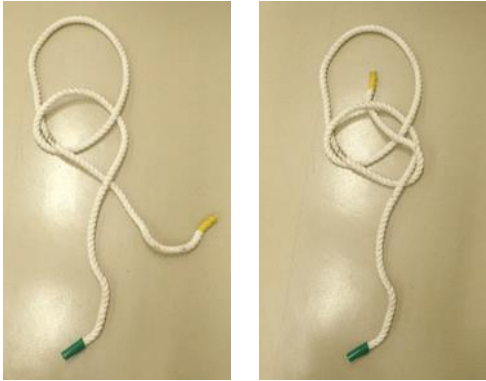
③最後のひと巻きにロープのはしを通して、できあがり！



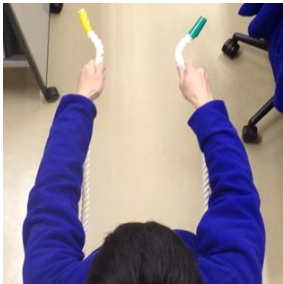
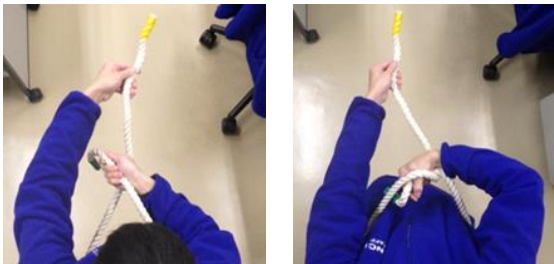
「棒結び」って？

5～6m程度のロープをまとめるときに適している。
ふれあい館のロープは棒結びで片付けよう！

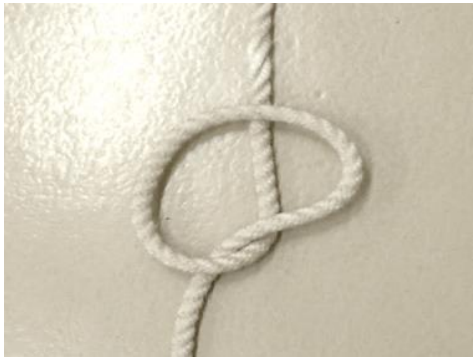
「もやい結び」(ボーライン・ノット)

①片方をひねって小さい輪をつくる。	②輪にロープを通す。
	
③ロープの下を通してもう一度輪の中に入れる。	④ロープを引いて結び目を強くしめる。
	
できあがり！	
	
<u>「もやい結び」って？</u> ロープの先に輪を作る結び方で、もともとは船と船をつなぐ時に使われた。人命救助結びともいう。	

「一人もやい結び」(ボーライン・ノット)

①ロープのはしを握り背中に通す。	
	
②右手のロープを左手のロープの上を通して、お腹の輪からだす。	
	
③右手を左手のロープの下に通す。	
	
④下に通したロープのはじを右手でつかみながら、右手首の輪に通す。	
	
⑥両手でひっぱって結び目をしめる。できあがり！	
	

「てこ結び」(ボート・ノット)を使った縄ばしごの作り方

①写真のようにロープで輪をつくる。	②写真のように棒を輪に通す。
	
③ロープの上下を引いてしめる。	④これをくり返して 2 本のロープに棒をつなげていく。
	
できあがり！	
	